RI第2720地区　地区研修副リーダー　　　永田　壮一

職業奉仕セミナーの講評

９月1３日にアスパル富合で開催された職業奉仕セミナーは、前田眞実職業奉仕部門・部門長のご指導のもとに、小山康直ガバナーのご講演のあと初めてRLI方式を取り入れたディスカッション方式のセミナーを行いました。「職業奉仕はロータリーの金看板である。」とよく言われますが、皆さん真剣に討議に参加していただきました。どうして、職業奉仕がロータリーの金看板と言われるか、また、「４つのテスト」やシェルドンの「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる。」についてもディスカッションの中で言及され、皆さんの心の中に「職業奉仕」についてよく考える機会が出来たと思います。

　後半では、各グループの発表があり、また今回当2720地区で作成されました「職業奉仕ハンドブック」をもとに早水琢也職業奉仕委員が、歴史的な「職業奉仕」の成り立ちから活動の方法まで詳しく説明されました。

職業奉仕は、ポール・ハリスがロータリークラブ設立後作られた「ロータリー道徳律」（1915年 ロータリークラブ国際連合会第６回年次大会）へと受け継がれ、そして国際ロータリーの定款へと導かれました。常に自らの職業について道徳規範を持ち、自らの職業を通じて社会に貢献する、というロータリーの不文律がこれによって出来上がったのではないかと考えています。

今回のセミナーを通じて、参加された各クラブの職業奉仕委員長の方々が、今回のセミナーの内容をご自分のクラブに持ち帰られクラブの方々と一緒に、「ロータリーの職業奉仕」について話し合われるきっかけとなれば今回のセミナー開催の意義がより深まるものと確信しています。最後に、このセミナーの運営をお手伝いされました熊本江南ロータリークラブの皆様に心からの御礼を申し上げ、講評の言葉にさせていただきます。皆様お疲れ様でした。